

専門教育科目

講義科目

基本/OCR

授業科目名	財務諸表の知識	科目コード	配当年次	単位
担当教員	友寄 隆哉	EK03	3・4	2
科目の概要				
<p>財務諸表は会社情報の宝庫である。財務諸表を理解する力があれば、そこから会社の経営成績や財政状態に関する豊富な情報を得ることができる。本科目では、前半で財務諸表の概要、そして損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書など個別に財務諸表の仕組みや内容について学ぶ。後半ではそれらの知識を応用させ、財務諸表を総合的に分析して会社を評価する手法について学ぶ。変化の激しい現代に生きるビジネスパーソンにとって必須の知識を習得する。</p>				
科目の到達目標				
<p>①財務諸表の必要性について、会社の構造や利害関係者との関係をふまえて説明することができる。 ②個別財務諸表、連結財務諸表について、その仕組みと内容を理解し活用できる。 ③会社が公表する財務諸表について、さまざまな分析手法を駆使し評価することができる。</p>				
テキスト	<p>『財務諸表のしくみを理解する』井口 秀明, 産業能率大学, 2016年 『財務諸表で会社を評価する』井口 秀明, 産業能率大学, 2016年</p>			
テキストの読み方				
<p>①会社を取り巻く経済環境について把握し、財務諸表にどのような役割が期待されているのかを理解する。また損益計算書、貸借対照表など個別の財務諸表についてその構造と意義を習得する。連結財務諸表は個別の財務諸表を基礎として作成されるが、企業グループ全体の業績を表すためにどのような工夫がなされているかを理解する。 ②さまざまな財務諸表の分析手法をその必要性、有用性から本質的に理解し、現実の会社に応用できるようにする。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				